

ウィズ便り

～令和6年秋号～



一年の中でも過ごしやすいシーズンが到来しました。猛暑の中、お出かけを控えておられた方も、体力づくりにお散歩や、季節を感じに紅葉を見に行かれるなど、お出かけをお楽しみください。

シューズや杖、シルバーカーや歩行器、車いす、電動車いすに至るまで、さまざまな歩行支援グッズがございます。歩行に少しご不安がある方も、ご自身のライフスタイルにフィットする福祉用具で安心して外出できるようお手伝いさせていただきます。

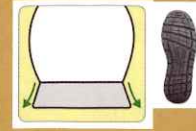
歩きたくなるシューズが新発売！

ウォーキングからリハビリでのご利用まで幅広くご利用いただけるシューズです♪



2枚形状のベロで巻き込みにくく履きやすい！

ライフステップ
¥6,490.-(税込)



しなやかで曲がりやすいソールと末広がり安定感抜群の靴底



すべり台状の履き口で足入れやすく、かかとをしっかり包んで歩きやすい！



介護の現場から シリーズ ～介護すること、されること～

(41) 「ありがとう！」をチカラに変えて

退院時から福祉用具専門相談員として担当させていただき1年半ほど経つ、89歳お一人暮らしのNさん。13年前に直腸がんと診断されて以来、転移とその治療を繰り返され、今日に至るまで闘病生活を続けていらっしゃいます。昨年には敗血症を発症され、娘様も回復は難しいかもと思われていたそうですが、奇跡的な回復力とその後の懸命なりハビリで何とか歩行器をお使いになれる状態となり、在宅復帰を果たされました。

自宅内での移動には歩行器が必須でしたが、幸いなことに高齢者向けマンションにお住まいで、要所には手すりが設置され、バリアフリーで間口も広い為、歩行器を利用するには問題ない環境でした。デイサービスまで持ち運ぶことも考慮し、軽量でコンパクトなタイプを希望されていましたが、反り腰で歩行時に後方重心になりやすい為、安定感のある機種を選定させていただきました。デザインも含めて非常に気に入られ、今では「良い歩行器を選んでくれた！」といつも感謝の言葉を掛けてくださり、訪問時には真っ先に「ありがとう！」と声をかけて迎えてくださいます。

ある日ケアマネジャーより「玄関ドアが速く閉まってしまうので急いで出入りしないとイケない。ドアの開閉時に支えにできるレンタルの手すりを選んであげて欲しい。」と相談がありました。選定のため訪問しますと、玄関ドアの閉まる速度が確かに速い！毎朝一階の新聞受けに新聞を取りに行く為に歩行器を使われるのですが、お一人で玄関ドアの開け閉めをされるのは非常に危険と思われました。我々であれば大きな障害とは感じないのですが、足が不自由で小柄な高齢の女性にとって、重いドアが迫ってくるのは本当に恐怖でしかなかったようです。

実は玄関ドアのほとんどに「ドアクローザー」という装置がついており、そこを調整することで開閉速度を変えることができます。ドライバーで回し調整することでゆっくりと閉まるようになり、Nさんは元より、娘様も感嘆の声をあげられ、非常に感動していただきました。結果的に手すりのレンタルは不要となり、その後は玄関の出入りを安全安心にできるようになりました。それ以降、ケアマネジャーの定期訪問の際には必ず「ありがとう！と伝えておいて！」と仰ってくださっているそうです。

Nさんのおかげで、我々にとっては些細な事が高齢の方にとっては非常に大きな障害になり得る、そして福祉用具を今ある環境に当てはめるだけではなく、環境全体を見直し、生活動線を家具の配置や様々な工夫で変えていくことで生活が劇的に改善することに改めて気付かせていただきました。



現在は週5日デイサービスに通われ、身体を動かしたり、お仲間とお喋りを楽しみに日々過ごされています。Nさんは45年の長きに渡りご主人と寿司店を切り盛りされ、まさに働きづめの人生だったそうです。やっと落ち着き平穏な日々が始まると思った矢先に病魔に襲われるのですが、幾度となくそれを奇跡的に乗り越えてこられました。そんな壮絶な体験をされているからこそ、関わっている全ての方方への感謝の思いを常に忘れず、前向きに明るく過ごされる姿や、娘様との気兼ねのない親子のやり取りにいつも元気を頂いています。Nさんの心からの「ありがとう！」という感謝の言葉をチカラに変えて、これからも日々精進し、福祉用具専門相談員道を極めていきたいと思えます。

作業療法士・フッチー先生のためになるつぶやき 忘れる前にやってくる！？防災対策を見直そう！

世界のマグニチュード6超の地震の約2割は日本で発生し、活火山の約1割が日本に集中しています。今後30年の間に約70%の確率で発生するとされている南海トラフ地震と首都直下地震を耳にするところです。ことわざで「天災は忘れた頃にやってくる」とあります。これは、科学者で随筆家の寺田寅彦によるもので、自然災害はその被害を忘れたときに再び起こるものだという戒めの言葉です。もはや今の時代、「天災は忘れる前にやってくる」となり、私たちにとって、記憶のある生活の中で災害が再び起こり、日々の備えが重要であるようになりました。ただ、どうしても災害が起こった直後に、備蓄品の購入が集中して、品切れ状態になってしまいます。そうなると、本当に必要な人、特に高齢者や身体が不自由な方に届かなくなってしまうことを懸念します。そうならないためにも、日ごろからの備えについて、考えておかなければいけません。今回は、首相官邸の災害が起きる前にできることをご紹介しますので、ご参考ください。

災害が起きる前にできること

※首相官邸ホームページより一部抜粋



【家具の置き方、工夫していますか？】

大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて転倒防止対策を！

- ① 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう
- ② 寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ③ 手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう



非常時にガラスなどから足を守ります。

足まもりっぱ
¥2,178.-

【食料・飲料などの備蓄、十分ですか？】

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例（人数分用意しましょう）

- 飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
- 非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トレットパー、ティッシュパー、マッチ、ろうそく・炬燵コソなど

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。
※ トイレを流したりするための生活用水も、日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく等の備えをしておきましょう。

電子機器から小型家電まで充電可能
ウルトラメガパワーステーション
SSBUMPS
¥88,000.-



停電時の備えとして、吸引器をお使いの方には手動式吸引器の備えや3電源対応タイプもおすすめです。



【非常用持ち出しバックの準備、できていますか？】

非常時に持ち出すべきものがすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

【ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？】

お互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。万が一の時は災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言版を活用しましょう！



【避難場所や避難経路、確認していますか？】

自治体のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイト等の防災マップやハザードマップにて事前確認を！



福祉用具総合カタログ BEST CARE VOL.24 最新刊が発刊されました

日常生活に役立つ商品から介護保険対象商品に至るまで、多数の福祉用具を掲載しております。防災関連用品の取り扱いもございます。カタログを隅から隅までご覧いただくと、「こんな商品もあるのね！」と新たな発見に繋がることも・・・



ご希望のお客様には無料で差し上げております。お気軽に担当者までご連絡ください。

お問い合わせ先 お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 ウイズ

こちらのWEBサイトをご覧ください。⇒



WITH オンラインショップ⇒

LINE公式アカウント⇒



本社・吹田	〒564-0042	大阪府吹田市穂波町19-25	☎06-6310-6262
大阪西営業所	〒550-0014	大阪市西区北堀江4-17-13	☎06-6536-9970
旭区ショールーム	〒535-0013	大阪市旭区森小路2-2-13	☎06-6955-6400
東大阪センター	〒577-0012	東大阪市長田東3-2-2	☎06-6748-8688
東住吉営業所	〒546-0013	東住吉区湯里2-18-11-101	☎06-6707-0788
東京営業所	〒101-0032	東京都千代田区岩本町3-5-2-702	☎03-5821-8572
横浜営業所	〒232-0056	横浜市南区通町2-33-2-102	☎045-730-6255
京急上大岡店	〒233-8556	横浜市港南区上大岡西1-6-1-7階	☎045-848-7297